

令和4年

第8回仙北市議会定例会
教育行政報告

仙北市教育委員会

令和4年11月28日

令和4年第8回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校教育課】

◇仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクトについて

仙北市教育委員会においては、仙北市の人口の社会減抑制のため、地域を担う人間の育成を今まで以上に推進する必要があると考えています。「SDGs未来都市」の観点からも持続可能な仙北市の創成のためには、ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思い、仙北市の未来を担う人間を一人でも多く育てていかなければなりません。そこで、令和5年度から「仙北市を舞台にふるさとの未来をつくる若者を育てる」を目標に据え「仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト」を推進していきたいと考えています。ヤマメは、ふるさとの川に残りふるさとで子孫を残す魚です。サクラマスは、いったん海に出て行きますが、また生まれた故郷の川に戻る魚です。ヤマメ型人間、サクラマス型人間どちらでもかまいません。仙北市を未来に繋げていくために、教育委員会はあらゆる施策を講じていくつもりです。その事業の大きな柱の一つに仙北市版キャリア教育があります。地元の企業や経営者に依頼し、小学校の低学年から職場見学や職場体験、企業説明会を系統的に実施するものです。この事業の一環として仙北地域振興局と仙北市農林商工部と共催で神代中学校2年生を対象とした企業説明会を11月10日に実施しました。地元にも優れた企業があることを知り、そこで働く人々の思いや願いを実際に聞くことを通して、今後の生き方や自分の進路について考える契機にしてほしいと企画したものです。仙北市においては、初めてとなる試みです。閉会行事においては、「地元これだけの企業があるとは知らなかった」「都会に出て行くつもりであったが、地元企業で働くことも視野に入れたい」というように地元企業に対する前向きな発言がたくさん出ました。次年度は角館中学校を会場に最低20社は集めて市内中学校2年生全員を対象に実施したいと考えています。

◇大曲仙北教育研究会秋季大会について

10月27日に角館小・中学校で大曲仙北家庭科、技術・家庭科教育研究大会が、また生保内小・中学校で大曲仙北音楽科教育研究大会が開催されました。いずれの会場も授業を事前に撮影しておいてのビデオ視聴による研究会でした。どの会場でも生き生きと活躍する子どもの姿が見られ、参加した教員からは、「テーマに基づいた子どもの成長が見られた」と評価を受けました。

◇文化、芸術面等での児童・生徒の活躍について

第85回秋田県書道展半紙小学生の部及び令和4年度小学生の「税に関する習字」展において市内小学生がすばらしい成績を残しました。また、令和4年度中学生の「税についての作文」コンクールにおいても市内中学生が好成績を残しました。詳細については別紙をご覧ください。

◇秋田県中学校秋季大会について

11月5日に県立武道館で開催された全県中学校秋季剣道大会で、男子団体で角館中学校が第3位となりました。11月13日に県立武道館で開催された全県中学校秋季柔道大会では、男子60kg級で神代中学校2年田口悠歩（たぐち ゆうと）さん、男子90kg超級で藤村世海（ふじむら せな）さん、女子70kg級で1年佐藤亜耶希（さとう あやね）さんが優勝しました。

◇女子生徒の制服について

多様性への対応ということで、現在市内中学校で検討委員会を立ち上げ協議していますが、どの学校でも生徒会や校内の検討委員会を中心に熱心な議論をしています。多くの学校で、防寒対策やLGBTQの視点から、女子のスラックス採用を検討しています。来年度の4月からの実施を目指しております。

【北浦教育文化研究所】

◇令和4年度仙北市教育研究会研究大会について

11月2日に、令和4年度仙北市教育研究会研究大会が開催されました。これは、仙北市の教育のさらなる質的向上を目指して、市内小中学校の全ての先生方が授業参観をしあい、研修するものです。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、事前に撮影した授業動画をオンラインで視聴する形で実施されました。

学校教育では、社会の変化に主体的に向き合い、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる子どもを育てていくことが求められています。そこで、市全体のテーマを「“「問い」を発する子ども”の育成 思考を広げ、深めることのできる言語活動の工夫 ～安心して意見を交換できる共感的な集団づくりを土台として～」と据えて全小中学校で取り組んでいます。

本大会はその集大成の意味合いをもつものでした。市内全教職員のベクトルがそろった、充実した研究会となりました。また、当日は大館市教育委員会高橋善之（たかはし よしゆき）教育長から講演をいただき、ふるさと教育とキャリア教育の重要性についてあらためて認識する機会となりました。

【学校適正配置準備室】

◇将来の小・中学校のあり方に関わるアンケートの実施について
10月7日から同月26日にかけて、「目指すべき教育の姿と学校のあり方」に関する市民アンケートを実施しました。

本市の学校教育に関する現状や課題を踏まえ、市民が将来の子どもの視点に立ったときに、学校にどのような教育環境を望むのかを把握し、本年度内に策定する「学校適正配置方針」に反映させることを目的として実施しました。

結果については、本議会定例会の会期中に議員の皆様には報告の機会を設けさせていただくとともに、市民の皆様には広報等でお知らせする予定です。

【角館公民館】

◇伝統芸能ミニフェス秋の陣について

11月5日、角館町武家屋敷内小野崎家にて、伝統芸能ミニフェス秋の陣を開催し約80名の方々に楽しんでいただきました。

当日は、あいにくの雨にもかかわらず、紅葉に染まる武家屋敷内で秋田民謡、秋田おぼこの手踊りなどが披露され、発表の場としても喜ばれたほか、観客は伝統芸能と秋の武家屋敷との共演を堪能されていました。

◇角館東地区公民館について

角館東地区公民館は、現在、旧校舎は各講座、体育館はスポーツ活動で活用されていますが、施設は建設から延べ43年が経過し、平成25年度に実施した耐震診断調査においては、耐震補強が必要と診断されています。

施設の老朽化に伴う不具合も多く、大規模改修に多額の費用が想定されるほか、利用者が平成30年度と比較し、約半数以下に激減しているなど、多くの課題が判明しています。

利用者の安心、安全な利用施設の確保のため、できる限り早い判断が求められる状況と考え、利用者の皆さんへ十分に配慮しながら、角館東地区公民館の閉鎖を検討することにしました。このことについては、公民館運営について審議を行う社会教育委員に意見を求めるほか、利用状況の精査、代替施設の要望把握、代替施設等の空き状況の確認などを始めています。

今後、利用者、社会教育委員などの意見をまとめながら、市役所内部の連携を図り、利用者の皆さんへのご理解を求める方向で進めたいと考えております。

【仙北市民会館】

◇市民会館自主事業について

11月3日、仙北市民会館を会場に地域交流の場と世代間交流の場としての活用を目的としたイベント「市民会館の活用を考えてみたらこんなことをやってみようと思った件」が開催されました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、ホールでは午前地域おこし協力隊の岩見谷慎太郎(いわみや しんたろう)さんによるDJ体験教室、午後には映画上映会、ロビーでは終日、高スペックのゲーミングPCを使用したeスポーツ体験と市長杯、教育長杯の大会、その他フリーマーケットやキッチンカーなどに、若者を中心に400名程の来場者がありました。

今後も市民のニーズを把握しながら、文化芸術に関する活用はもちろんのこと、今まで以上にたくさんの方々に来場してもらおうべく、市民会館を活用した、様々なイベントを開催していきたいと考えています。

【学習資料館・イベント交流館】

◇展示会について

新潮社記念文学館では6月1日から11月3日まで「角館とアララギの歌人たち」を開催しました。会期中の入館者数は1,556人でした。

11月15日から令和5年2月26日までの会期で、「坂本梅子 詩の世界展」を開催しています。坂本梅子は直木賞作家千葉治平の実の姉で、秋田県の現代詩において大きな足跡を残した女流詩人の一人です。この機会にぜひご覧ください。

【平福記念美術館】

◇企画展「郷土作家が描くいきものたち」について

10月3日から11月13日の期間、企画展「郷土作家が描くいきものたち」を開催しました。角館町出身の日本画家 平福穂庵・百穂父子をはじめ、その弟子たちや仙北市ゆかりの現役作家などが描いた「いきもの」をテーマとした日本画作品約40点を展示し、紅葉の季節も重なったこともあり、たくさんの方の入館者の方に作品を観ていただくことができました。会期中の入館者数は1,512人でした。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。